



ふれあい

2011年3月
現在の会員数
男性 1,386名
女性 530名
合計 1,916名

No.129
2011年/4月

題字 府中市長 野口忠直 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322

平成23年4月1日から
公益社団法人 府中市シルバー人材センター
として認定されました。



急遽ふれあい会館5階で行われた第61回定期総会

- 第61回定期総会を開催…………… 2
- 公益社団法人で何が変わるのか…………… 3
- 女性会員新年交流会開催…………… 4
- 役員・地域班長合同会議…………… 4
- センターの年間行事予定…………… 4
- お客様企業33社を訪問…………… 5
- 新事業「出張着付け」発足…………… 5
- シルバー川柳…………… 5
- 会員作品展「趣味多彩」開催…………… 6
- 「ふれあいまつり」大盛況…………… 6
- ボランティア活動を盛り上げよう…………… 6
- 研修・会議等開催…………… 7
- センター活動の写真…………… 8

3月11日の東日本大震災により被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。

府中市シルバー人材センターでは窓口カウンターに義援金の募金箱を置いて皆様に募金をお願いしております。

募金は日本赤十字社に寄付いたします。

どうぞご協力をお願いします。

第61回定期総会を会場を変更し「ふれあい会館」で開催
議題のすべてを賛成多数で承認

総会は3月30日午後1時に開会、司会の澤井修一理事の発声で、東日本震災でお亡くなりになられた方々に黙祷を捧げたのち、遠藤正司副会長から「今回の総会は、大震災の影響で予定しておりました会場の使用ができなくなり、ご迷惑をお掛けしたこと、総会の資格審査について、会員総数は一、九五七名、出席会員七五名、委任状提出者一、三三名、合計一、四二名のご出席で定款の規定による定足数九七九名を超え、本定期総会は有効に成立している」旨が報告された。



退任される役員の方々

次に本間幸男会長が「今般の大震災で犠牲となられた大勢の方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に対し衷心よりお見舞いを申し上げます。また、当センターでは広く義援金の募集を行い、日本赤十字社に、お送りさせていただきます。平成22年度の事業実績は、現下の大変厳しい経済状況、加えて今回の震災の影響により前年実績を大きく下回る見通しであります。今後ともこの厳しい現実を踏まえて事業活動の推進にお一層努力してまいりたいと存じます。懸案でございましたが、昨年12月に東京都公益認定等審議会からの答申をいただき、3月22日に東京都から認定書の交付を受けて、4月から公益社団法人として、再スタートすることになります。市民の期待に応えるべく、会員皆様とともに全力で取り組んでまいりたいと存じます。また本年度を以てご退任されます役員並びに地域班長の方々に、改めて深く感謝を申し上げます。ごあいさつといたします。」と述べられた。

議事に入り、議長に白糸台の田嶋淳氏、副議長に新町の本橋久義氏が指名され、議事録署名人に若松町の高橋良夫氏、若松町の宮内英氏のご

両名が指名された。議事は順序を変更し、まず報告事項の「公益社団法人への移行経過について」黒川理事が報告、今後ボランティアによる社会貢献活動を拡充する必要がある、と強調した。次に「平成22年度一般会計補正予算第2号」について渋谷常務理事が「会計制度が大幅に変更するため施設建設資金2千5百万円を財政運営積立基金に組み替えるもの」と説明、また、今年度の事業収入見込み額は、

副会長	遠藤正司	清水が丘
理事	鎌田義恵	宮西町
理事	安田昭子	多磨町
理事	高木政邦	浅間町
理事	西田保男	押立町
理事	澤井修一	住吉町
監事	川崎盛久	栄町

●平成23年度新任役員

代表理事	本間幸男	本宿町
代表理事	西隈邦彦	美好町
業務執行理事	渋谷彰	押立町
理事	黒川京三	白糸台
理事	小林敏彦	新町
理事	澤村一男	若松町
理事	芝原央充	浅間町
理事	竹内初子	是政町
理事	田中和美	本宿町
理事	丸山俊輔	四谷
理事	三坂益路	天神町
理事	棟方鷹揚	宮西町
理事	和田道夫	分梅町
理事	市川泰三	晴見町
監事	北村義彦	西原町

今回の計画停電の影響により府中市の施設が夜間閉鎖されたため、管理業務などに就業できず、2千万円、2〜3%程度の減少となると見込まれると説明、了承された。

次に「平成23年度事業計画」について「棟方理事が「役員数の減少に伴い、委員会組織を新たに再編し、迅速な意思決定できるシステムとする。就業開拓推進員による就業開拓活動の強化、ボランティア活動に積極的に参加」等を詳しく説明した。更に渋谷常務理事がおよそ8億7千万円を超える「平成23年度収支予算書」について、公益法人化によって大きく変わった予算管理手法を従来の手法と対比しながら説明した。また、今年度から配分金の支払日について資金運用の面から毎月25日に変更せざるを得ない事情についても説明し、了承を得た。

次に、任期満了により退任される遠藤正司副会長ほか6名の各役員を紹介、長い間シルバー人材センターにご尽力いただいたご苦労に暖かい感謝の拍手で報いた。

最後に、西隈理事が「議題がすべて了承されたことに感謝するとともに、新年度からは、公益社団法人としてさらなる飛躍を目指して、頑張つてまいりますので、ご協力をお願いしたい。」と閉会のあいさつを述べてセンターの新しい歴史に第一歩を記す定期総会はすべて終了した。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>
Eメール fsc@fsc.or.jp

●公益法人制度改革のあらすじ● 公益社団法人で何が変わるのか

一、制度改革の背景

- ① 主務官庁の許可主義で、設立が容易ではなかった。
- ② 公益性の判断が曖昧で、柔軟に見直す仕組みが無かった。
- ③ 営利法人に類似した法人が存在している。

二、改革の意義及び目的

- ① 政府対応では、機動的な対応が難しい。
- ② 営利法人では、採算性が求められ充分な対応ができない。
- ③ 非営利の公益組織を活性化し、強化することが目的である。

三、改革の方向

- ① 団体自治の尊重
- ② 透明性の確保
- ③ 社会奉仕活動(ボランティア活動)の充実

四、制度改革の概要

従来の社団法人とは、旧民法第34条に基づいて公益のために設立される法人の一つで、学術・技芸・慈善・祭祀・宗教その他の公益に関する社団であつて、営利を目的としないものであります。

法人の運営にあつては、定款を定め、社員が議決権を持つ社員総会で意思決定をし、理事が業務執行及び団体の代表となります。

法律上の社団法人は、定款に基づき運営され、会員を社員と規定し、会員は不特定多数の利益を行為によつて還元する。社団法人では会員による行為そのものが公益活動であります。

新制度においては、公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律に基づき、所管が東京都知事となります。

実際の審査と監督の権限は、民間人合議制機関の公益認定等委員会が当たり、認定法では、公益法人の公益目的事業

の定義を学術・技芸・慈善その他の公益に関する別表23種の事業とし、不特定多数の者の利益の増進に寄与するものとしています。

シルバー人材センターは、公益目的事業を行う旨を定款で定め、会員による行為そのものが公益活動であることに変わりはありませんが、収益事業課税で収益事業に該当していても公益目的事業として認定されたものは収益事業から除外され非課税となります。

また、寄付者についても公益法人が公益目的事業に対して受けた寄付については、税制上の優遇措置が講じられます。

五、公益認定等委員会

- ① 毎年度事業を報告、立ち入り検査
- ② 法人資格取消該当の疑いがある場合の必要措置の勧告
- ③ 勧告に従わない場合の命令
- ④ 公益認定の取消

六、新制度の法人経営

- ① 団体自治と自己責任による経営、内部統制が確立された新しい経営管理体制と理事・監事・理事会による経営方針
- ② 情報公開透明性の確保
- ③ 法令順守の確保

七、改正定款のポイント

- ① 公益法人への移行により、改正された定款の所要ポイントは次の通りです。
- ① 名称(第1条)

公益社団法人

府中市シルバー人材センター

- ② 目的(第3条)
- ③ 定期総会の開催回数(第14条)
- ④ 理事会(第22条)

これまで理事会は民法上の規定は無く任意機関であつたが、公益法人では必ず置機関である。

⑤ 代表理事(第23条)

新法では、代表理事だけが法律上の代表権を持ち、法人の業務に関する一切の権限を有する。代表理事に空白が起きないように2名体制とする。

⑥ 事業報告・会員名簿等の閲覧(第40条)

事業報告、付属明細書、定款、会員名簿、監査報告、理事監事の名簿の閲覧

八、地域担当理事・地域班長・地域委員の連携について

- ① 地域担当理事、地域班長、地域委員が協議し、地域班活動計画を検討する。
- ② 地域担当理事、地域班長、地域委員の連絡体制の強化
- ③ 地域班での次期班長、委員候補の養成
- ④ 地域委員の意識改革
- ⑤ 社会奉仕活動(ボランティア活動)の充実強化 (以上)



会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール fsc@fsc.or.jp

女性会員新年交流会 華やかに賑やかに開催

平成23年1月25日、穏やかに晴れた昼下がり、女性就業推進委員による「女性会員新年交流会」が「むさし府中商工会議所」大ホールにて開催されました。

女性の集まりだけに新年にふさわしい華やかさがあり、会場は賑やかに明るい雰囲気でした。

理事さん、事務局職員さん達の手伝いで会場の準備をされ、定刻どおり12時より開場、三々五々着席され、倉地眞弓会員の司会進行で始まり、主催の山口弘美委員長、本間幸男会長のごあいさつ、そして女性就業推

進委員会の活動報告がありました。活動の中には大きなイベントなどもあり、何度も打合せをしながらご苦労されたことなども話されました。

遠藤正司副会長の乾杯音頭で交流懇談になり、各テーブルには女性らしい配慮で、ハステルカラーの折り紙で折り鶴が優雅に舞っているように飾られ、茶菓とお弁当が用意されて、食事をしながら楽しく歓談交流の会は進みました。

アトラクションでは「下染屋囃子連」の獅子舞、民謡同好会「日の出会」による民謡と踊り、「着付け友の会」の紹介では日本の礼服である留袖、振袖、訪問着など会員自らのモデルで華やかなファッションショーで会場を魅了しました。

次に待望のお楽しみ抽選会では空クジ無しで大いに盛り上がりました。倉地副委員長の閉会あいさつで出席会員128名が参加した素晴らしい新年交流会が終了しました。

平成22年度 第3回 班長・役員合同研修・会議

3月18日(金)午後1時から東日本大震災の影響で府中市の各施設が閉館並びに利用休止される中でふれあい会館5階第4会議室で予定どおり開催されました。

班長研修で講師東京農工大学教



農工大浅岡教授の講演

授浅岡幸彦氏による「高齢者が地域で働き地域に貢献する」をテーマに、地域での「つながり」の大切さを、

今回の震災や過去の中越地震などで過疎・高齢化に悩む、山間地域の支援に共通の課題や、地域の自立する模索などを交えて解説されました。

4月1日から公益社団法人に移行に伴い社団法人として最後の第61回定期総会の取り扱いについて本間会長から説明があり、府中の森芸術劇場「どりーむホール」での開催が中止になり、急遽、原則、役員・地域班長だけの出席による総会を3月30日(水)ふれあい会館5階第4会議室で開催するため、各会員の委任状を事務局に確実に返送するようお願いしたい、とのことであった。

議題の第61回定期総会の正副議長の

推薦と議事録署名人の推薦も決まる。平成23年度センター委員組織と地域活動の方針とセンター案内パンフレットの配布日の変更等他質疑応答があり、閉会しました。

センターの年間行事予定

- 4月1日(金)臨時理事会
- 5月6日(金)入会説明会
- 5月8日(日)多摩川ボウリング大会
- 5月21日(土)自転車競技大会
- 6月7日(火)入会説明会
- 6月14日(火)植木受付
- 6月17日(金)第62回定期総会
- 6月~8月 地域懇談会実施
- 7月中 安全強調月間
- 7月5日(火)入会説明会
- 7月22日(金)安全推進大会
- 8月2日(火)入会説明会
- 8月5日~7日 商工まつり
- 9月6日(火)入会説明会
- 9月10日(土)交通安全パレード
- 10月中 広報強調月間
- 10月(未定) シルバー人材センターフェア
- 10月5日(水)入会説明会
- 10月21日(金)けやき並木ボランティア清掃
- 11月1日(火)入会説明会
- 12月~1月 安全強調月間
- 12月6日(火)入会説明会
- 1月(未定) 女性会員交流会
- 1月10日(火)植木受付
- 1月27日(金)安全推進大会
- 2月7日(火)入会説明会
- 2月10日~13日 シルバーセンター美術展
- 3月6日(火)入会説明会

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>
Eメール fsc@fsc.or.jp

お客様企業33社を訪問 就業の継続と改善を図る

平成22年12月1日から13日迄、延べ9日間にわたり、当センターと継続契約をして会員に仕事をいただいている法人のお客様のうち33社を訪問しました。本間会長・渋谷事務局長・斉藤局長代理・事業部理事・就業開拓推進員に加え、今回からは総務部会・広報部会の理事も加わり、センターあげでの活動になりました。

その目的は
一、長い間の継続契約の御礼と、更なる継続更新の願いをする。



二、会員の就業上の課題、ご要望等をお客様から直接承り、今後の改善を図る。

合わせてセンター事業にご理解とご協力をいただくことをお願いしました。お客様には友好的にご対応いただき、幹部の皆様と親しく懇談することができました。

席上、お客様から会員の就業状況について、概ね、接遇・責任感・礼儀・気配り等、シルバー年代が最も得意とする面での評価は良好で、さらにチームワークや、問題発生時のスピードのある対応にも高い評価をいただきました。

反面、就業者の交代時の人選や、加齢に起因する健康問題等、当センターにとっても重要な課題についての指摘もありました。

- 今後はこれらの諸課題を解決するため、業務・総務委員会を中心に連携して、諸項目に取り組んでまいります。
- ①就業基準の検討と実践
 - ②良好な評価を持続するための会員研修の実施
 - ③会員の特技・資格・スキル等をデータベース化して顧客の希望する人選に役立てる。
 - ④会員による『就業相談会』を実施して、会員の悩みや相談に応じる態勢を作る。

新規事業 出張着付け「友の会」が発足

昨年8月、着付け事業の立ち上げの準備に入り、作業希望者8名で発足しました。

8(八)の末広がり数字に期待しつつ、事業部会長はじめ関係者が集まり数回の会議、意見交換をしながら実践の予行演習も行いました。

さる1月28日の女性新年交流会には私達はそろって着物姿で出席し、着付け事業の普及を、会員皆様にお願いをいたしました。



また、2月20日には野口府中市長様と同席の折に、出張着付け事業発

足のお話ししましたところ、「それはいいお仕事ですね」とのお言葉をいただき、心強く感じました。

また、嬉しいことに2月に入り注文が参りましたお客様に、近距離の会員が初仕事に入りました。ご注文をいただいた方はセンターの会員さんで、作業担当者の報告ですと大変喜ばれたそうです。

日本の民族衣装の着付けを廉価で提供しつつ、いろいろな注文に対応しながら事業の拡大を図ってまいります。会員の皆様、ご希望ご意見をお聞かせください。

投稿川柳

(沼きく)

ルート管 総理の器 割り切れず
シルバーを超えてこそ人生の一里塚
第九番仕事もそこそこ 咽喉鍛え
世話女房へそくりにまで手が届き
民主党 竜馬竜馬と慕詣で
(片町) 岡 莞球

原奈は 理工な総理も 手が出せず
都知事選 泡沫候補が 賑やかし
(東芝町) 飯田 博

歳取ると 日々の楽しみ 食事だけ
競馬なく 馬券のお金 義援金
栗原 義典

★投稿を募集しています★
(矢崎町) 芝辻 克己



趣味多彩な作品展 来場者過去最高741名

去る2月4日(金)から7日(月)までの4日間、府中グリーンプラザ5階展示ホールにおいて「会員作品展」が「趣味多彩」のテーマのもとに開催されました。



手づくりの会の「まつり雛」

立春の4日は好天に恵まれ、暖かな一日となった影響もあり、来場者の出足も良く、開催期間中、来場者数の記録を更新しました。(来場者数741名)
今回から主催が会員互助会からセンター事業に移行、体制も一新し、会場入り口には「ボランティア活動」紹介パネルが並べられていて、来場者の注目を引いていました。

一般展示も絵画、写真、書道、手芸、工芸、その他の6部門(57名、86点)やパソコン、筆耕同好会、小物作成グループなどがそれぞれ日頃の成果を発表し、会場全体を賑やかに彩り、特に手づくりの会出展の「つるし雛」は女性にとり身近な題材としても興味があるようで熱心に見学する姿が見受けられました。

野口府中市長、市議会議員などの来賓を初め、一般市民、近隣市民、皆さん多数の来場もあり、出展作品を通じて、府中市シルバー人材センターの「公益法人」として認識を深めるとともに市民へも新しいメッセージを発信した「作品展」でした

★市長も飛び入りカラオケ熱唱★ 歌に踊りに手品も 「ふれあい祭り」大盛況

2月7日10時からグリーンプラザ2階のけやきホールで、会員出演のふれあいまつり演芸大会が開かれました。演芸内容はカラオケ、舞踊、長唄、民舞、ギター演奏、ピアノ演奏、手品と、前年に比べ多彩になりました。



小林さんの司会で始まり、三坂実行委員会代表の開会あいさつのち、本間会長のあいさつがあり、多忙な野口市長の飛び入りのカラオケから演芸会が始まりました。
出演者は応募するだけあって、みな上手で、カラオケはのど自慢に出場しても、鐘は3つ鳴りそうな方々ばかりでした。40件以上の演目がありましたが、順調に進みました。

来訪者も数百人になり、拍手の音も大きく大いに盛り上がりました。これまで準備してきた関係者の方は大変だったと思いますが、このように順調に進んだので準備のし甲斐があったでしょう。

終わりのあいさつで加藤実行委員長から、また来年も開催したいとお話がありました。演目がもっと増え、より盛大になっていくことを期待します。

●公益法人化を機に ボランティア活動を盛り上げよう

理事 棟方 鷹揚

府中市シルバー人材センターでは、年間を通してクリーン多摩川・自転車安全教室・交通安全パレード・けやき並木通り清掃のボランティア活動を実施し、多くの会員が参加しています。

4月1日に公益社団法人になることを契機にして、一年前から定例の活動に加え、会員が就業する職群班・地域

班が、自主的に計画し、実施するボランティア活動の取組みも動き始めました。本来的に、ボランティア活動とは、自発的な意思に基づく自主的な活動です。会員は、一人ひとりの立場で様々なこの活動に参加していますが、団体で立ち上げ活動をするためには、参加先の参加条件をクリアしなければなりません。

しかし、具体的に活動を開始するためには、「何時、何処を、誰のために、どんな分野で、誰と、どのように」を明確にして、計画を立てなければなりません。そのため、府中市の担当部署に相談をして、けやき並木通りの定期的な清掃(環境美化)活動が可能となりました。「毎月10日の午前8時45分から1時間」の活動実施計画を立て、地域班会員に参加登録の募集をしました。60名からの応募があり、昨年の11月10日から実施し、直近では、寒中の本年3月10日(木)に19名が参加しました。

府中市内の多くの地域社会団体・個人は、様々な分野のボランティア活動に参加し、豊富な知識と体験をお持ちです。当センターも今以上に、ボランティア活動に関する研修会や講習会の開催、情報収集に努め、会員のボランティア意識の向上を図っていきます。そして、地域社会の方々と連携をしながらのボランティア活動を目指していきますので、地域社会の方々のご理解とご協力を特にお願したい心境です。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール fsc@fsc.or.jp

3月28日 剪定機械
(ヘッジトリマー)の講習会を開催

昨年3月に続き、今年も3月28日にふれあい会館に於て、東京都労働災害防止協会の上野技能師範を講師に招き、多くの植木班の会員が参加して、ヘッジトリマーの教育講習会を開催いたしました。作業の能率を向上させるため、近年剪定機械を使用する機会が増えています。取扱い方法によっては、思わぬ事故や振動障害による健康被害が多く発生しています。



上野師範のユーモアも交えた、機械構造の説明、取扱い方法、関係法令の詳細に、全員真剣に学ぶことが出来ました。道具使用の三原則、即ち「大切に扱うこと」、「いつでも使える状態しておくこと」、「性質を知ること」は全ての会員にも共通することだと思います。今後ますます安全就業に心がけることを誓いました。

3月25日 公園清掃除草
グループ全体会議を開催

新年度の作業に向けて、安全対策とごみの分別について情報交換しました。出席者は96名でした。



2月16日
除草班全体会議を開催

除草班では、作業上の安全対策などが話し合われました。出席者は57名でした。



嘱託職員交替

4月1日付でセンター会員から事務局の嘱託職員に採用されました。担当は、主に民間事業所の清掃業務関係です。よろしくお願いいたします。



三好 道雄さん

3月31日付で、嘱託職員の稲葉邦江さんが退職されました。

臨時職員交替

4月1日付で事務局の臨時職員に採用されました。よろしくお願いいたします。



佐藤 優子さん

3月31日付で、臨時職員の赤石さらさんが退職されました。

編集後記

会報「ふれあい」は本号より「公益社団法人府中市シルバー人材センター広報紙」として再スタートしております。当然、記載内容も第61回定期総会に始まる公益法人化移行への変容を語る紹介記事、および新年度の理事・監事の紹介記事、ボランティア活動の盛上げキャンペーン等の記事。ページ体裁も従来の会報から広く公益性を追求する広報紙としての変貌を目指し、本号以降号を追うごとに徐々に浸透して参ります。

(広報委員会 三坂)

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール fsc@fsc.or.jp



脚立点検を実施



コーラス「サファイヤ」



除草班全体会議



「義援金」募集



女性会員交流会



会員作品展



書道教室 (アンテナショップゆうゆう)



手品 (ふれあいまつり)

